

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 齋藤 政徳	
都整-16	重点事業	道路新設改良事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道路課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。 ・前年度からの繰越明許費により、岩瀬今泉周辺の交通対策のための砂押川沿い道路の歩道整備工事を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,869人	176,466人		人口	176,308人	
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯			
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	320,091	314,272	当初予算(千円)	371,501			
	国県支出金	86,623	80,902	国県支出金	110,605			
	地方債	78,000	197,600	地方債	233,100			
	その他		33,458	その他	19,001			
	一般財源	155,468	2,312	一般財源	8,795			
	人員配置数	1.9	1.9	人員配置数	1.6			
事業経費運営	人件費(千円)	15,768	15,834	人件費(千円)	13,443			
	総事業費(千円)	335,859	330,106	総事業費(千円)	384,944			
	市民1人当りの経費(円)	1,899	1,871	市民1人当りの経費(円)	2,183			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	平成24年度に策定した道路舗装修繕計画に基づき改修整備を進めているが、経年劣化を踏まえ今後道路舗装修繕計画を見直すこととしているため、事業量の増大が見込まれる。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市内の大規模住宅地等の道路は、対応年数を大幅に超過していること、また市民からの改良要望が多く寄せられているため、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から多数の舗装や補修要望が寄せられているため、事業費の拡大を図る必要があるが、業務執行にかかる人員等の配置や厳しい財政状況を考慮すると困難な状況である。 ・大規模住宅地内の道路や生活道路については、平成24年度に策定した「道路舗装修繕計画」に基づき、引続き改修整備を進めるとともに、今泉の安全対策として、砂押川沿いの歩道整備を進め、第Ⅰ工区として、平成26年度から実施し平成31年度に完了する予定である。今後も継続して事業を行い、歩行者等の安全確保を図ることとしている。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	市内の大規模住宅地内の道路や生活道路は、整備後相当年数が経過し舗装の劣化が著しく、市民から補修要望が多く寄せられていることから、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	他企業(水道、ガス等)からなる道路調整会議を定期的で開催し、相互の工事内容を確認することにより、舗装後の他企業により掘削を少なくするなど、適切な維持管理に努めている。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	計画的に事業を行うためには、人員の配置や一定の予算確保が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	道路舗装修繕計画の進捗率(単年度目標)					単位	路線	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
計画的に実施する必要があるため。	目標値	3.4	3.4	3.4	3.4		3.4	3.4		
	実績値	1.9	1.5	2.2	2.7					
	達成率	55.9%	44.1%	64.7%	79.4%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--